

児童・生徒アンケート調査結果

区分	調査目的	調査対象
小学校に関するアンケート調査 中学校に関するアンケート調査	- 施設の適正規模や配置等を検討する際の基礎データとして活用するため - 計画に反映させるため	市内居住者で以下に当てはまるもの。 - 市内の小学校に通う4年生以上の小学生 - 中学生（過去の小学生） - 高校生（過去の小中学生） ※高校生は、小学校、中学校に関するアンケートを一体的に実施
調査方法	配布・回収状況	調査設問
【配布・回答方法】 - 学校経由でのアンケート調査 - WEB回答 【回答期間】 2026年2月12日-2026年2月27日	【対象者数】 1,115 【回収数】 708 【回収率】 63.5%	- 基本属性 - 理想の学級数・人数 - 幸福度・満足度 - 地域愛着 - Uターン意向 - 進学先

【複数回答の集計方法について】

- 本調査では複数回答の集計に際し、延べ回答数に対する構成比を用いた積み上げ100%グラフを使用しています。複数回答は回答者数に対する選択率を示すの一般的ですが、学校間の比較を視覚的容易とするため、このような処理を行っています。

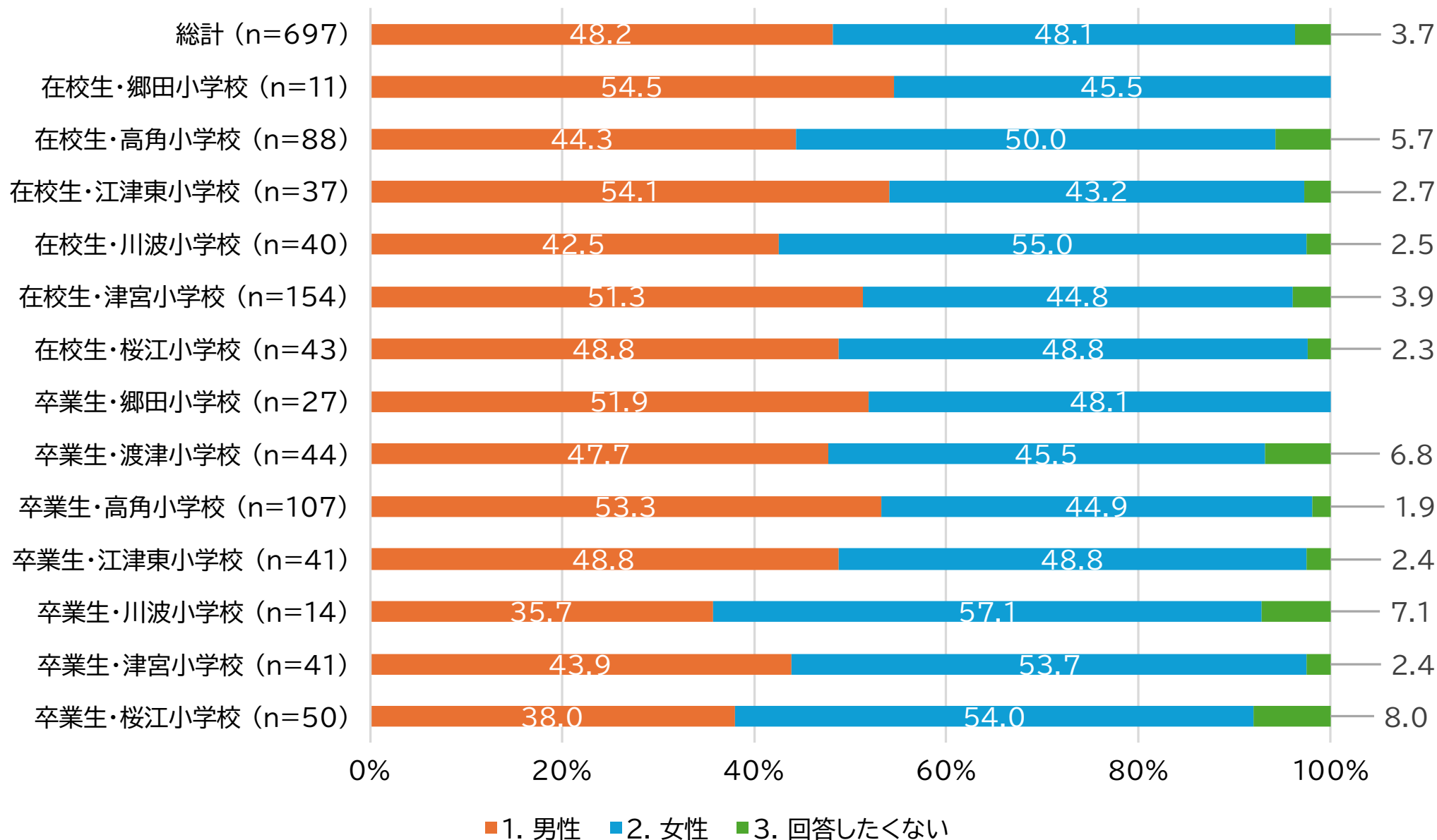
各選択肢の割合＝各選択肢の選択数 ÷ 全選択肢の延べ選択数

【注記】

- 渡津小学校の在校生については、回答者数が1だったため、匿名性保持の観点から学校別集計の対象から除外しています。
- 市外からの転校生などで、市内の小学校・中学校に在籍経験がない生徒については、集計から除外しています。

●回答者の性別 【回答者：小中高生】（単一回答）

- 全体として、男女比はほぼ1:1となっています。
- ただし卒業生については、桜江小学校、津宮小学校の男性の回答率が低い傾向がみられます。



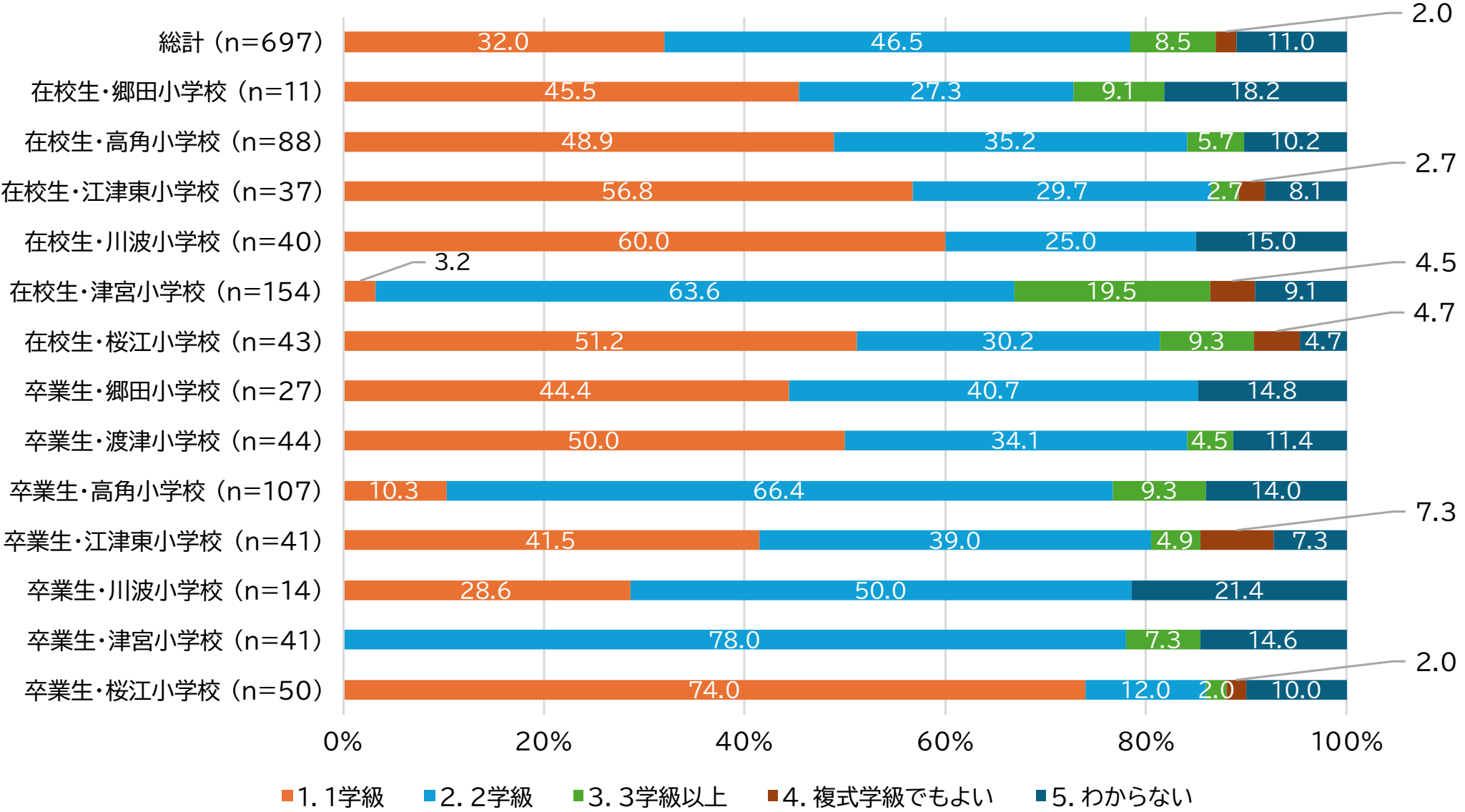
・ 回答者の居住地は以下の通りです。

在学/出身校	波積地域	黒松地域	都治地域	浅利地域	松平地域	渡津地域	郷田地域	嘉久志地域	和木地域	都野津地域	二宮地域	跡市地域	敬川地域	波子地域	有福温泉地域	長谷地域	市山地域	川戸地域	谷住郷地域	川越地域	総計
在校生・郷田小学校 (n=11)	-	-	-	-	9.1	-	90.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
在校生・高角小学校 (n=88)	2.3	-	-	-	1.1	-	3.4	62.5	30.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
在校生・江津東小学校 (n=37)	13.5	8.1	32.4	45.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
在校生・川波小学校 (n=40)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	7.5	-	60.0	22.5	7.5	-	-	-	-	-	100
在校生・津宮小学校 (n=154)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44.8	49.4	3.9	1.9	-	-	-	-	-	-	-	100
在校生・桜江小学校 (n=43)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	34.9	18.6	25.6	14.0	100
卒業生・郷田小学校 (n=27)	-	-	-	-	14.8	3.7	59.3	18.5	-	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
卒業生・渡津小学校 (n=44)	-	2.3	-	2.3	-	93.2	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
卒業生・高角小学校 (n=107)	-	-	-	-	-	0.9	3.7	54.2	40.2	-	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
卒業生・江津東小学校 (n=41)	14.6	4.9	34.1	43.9	-	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
卒業生・川波小学校 (n=14)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	7.1	-	57.1	21.4	-	-	-	-	-	-	100
卒業生・津宮小学校 (n=41)	-	-	-	2.4	-	-	-	-	-	46.3	43.9	7.3	-	-	-	-	-	-	-	-	100
卒業生・桜江小学校 (n=50)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-	10.0	32.0	28.0	18.0	10.0	100

単位: %

●小学校における理想的な学級数 【回答者：小中高生】 (単一回答)

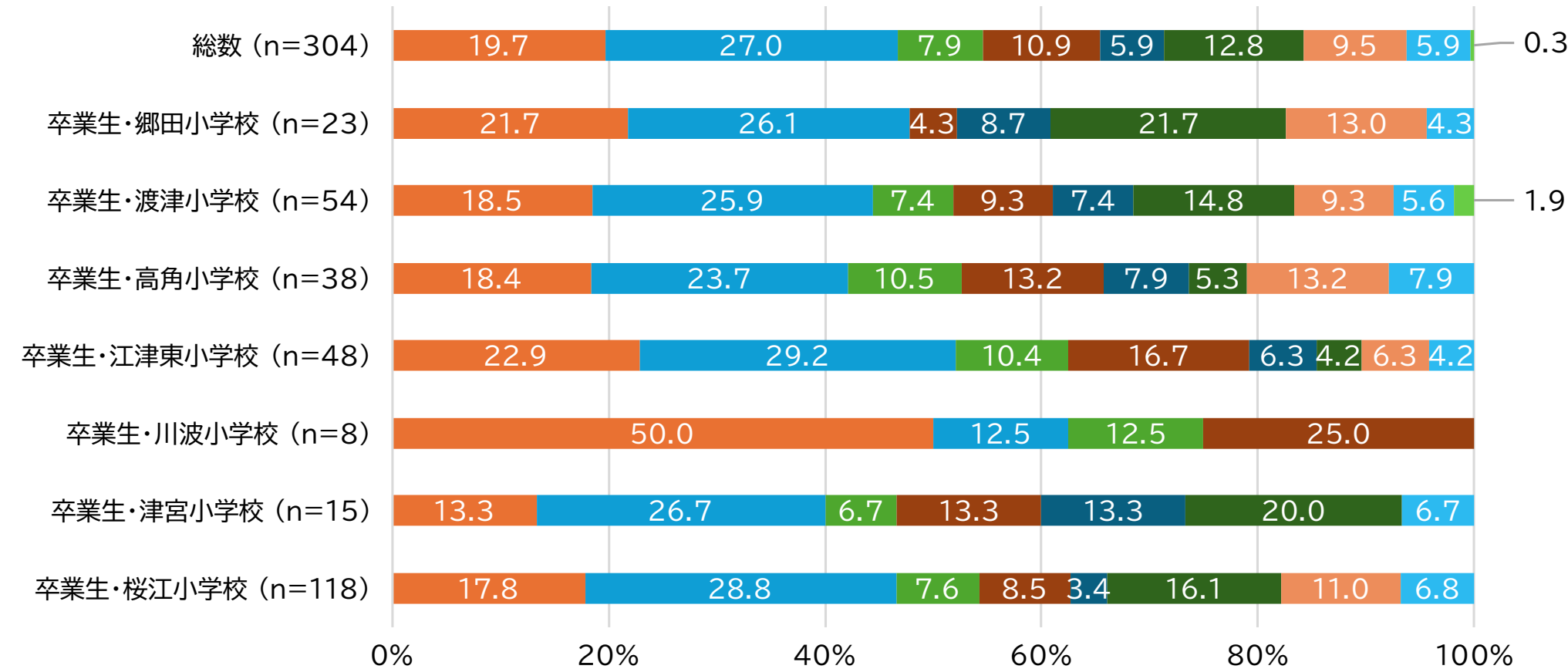
- 全体として、半数以上が2学級以上が良いと回答しています。「複式学級でもよい」としたのは2%でした。
- 在学生と卒業生の比較では、2学級以上がよいと思う割合は概ね卒業生の方が高い傾向にあります。一方、高角小学校では在校生は半数程度が1学級と回答したのに対し、卒業生は約2/3が2学級以上と大きなズレがみられます。



●小学校における理想的な学級数の理由（1学級または複式学級）【回答者：中高生】（複数回答）

全体として「ずっと同じメンバーなので、人間関係に慣れて安心できるから」が最も高く、次いで「人数が少ない方が、友だちや先生と落ち着いて関われると思うから」となるなど、既存の人間関係に関する選択率の割合が高くなっています。

※ nは延べ選択数



- 人数が少ない方が、友だちや先生と落ち着いて関われると思うから

■新しい友だちをつくるのが苦手なので、同じクラスのままだよいと思うから

■人数が増えると、集団行動や移動が大変になると思うから

■教室や学校生活が、今くらいの人数の方が過ごしやすいと思うから

■その他
- ずっと同じメンバーなので、人間関係に慣れて安心できるから

■先生が一人ひとりをよく見てくれていると感じるから

■クラスの雰囲気や友だち関係が気に入っていたから

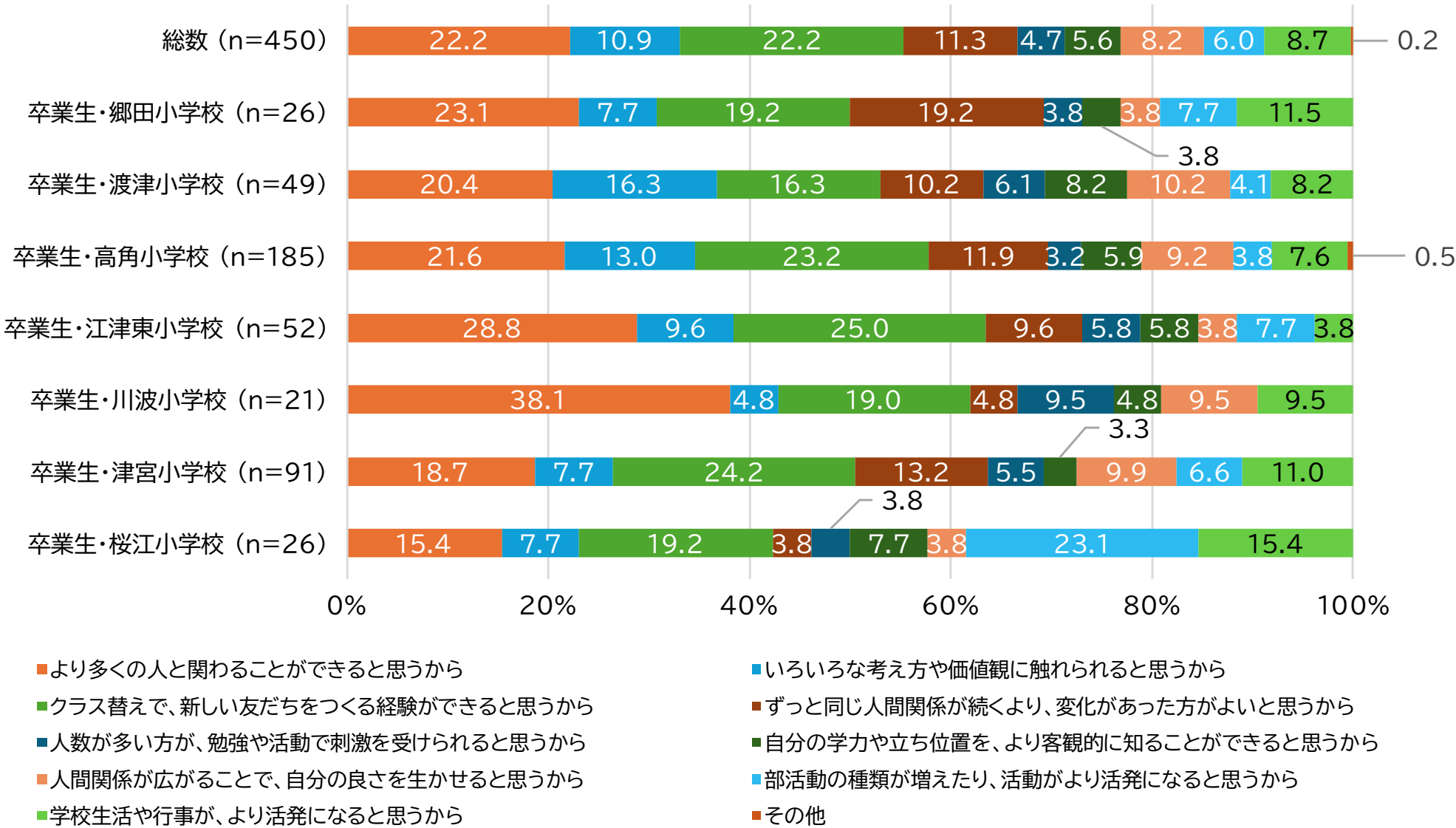
■人数が少なくても、工夫すれば十分に学べると思うから

* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●小学校における理想的な学級数の理由（2学級以上）【回答者：中高生】（複数回答）

- 全体として、「より多くの人と関わることができると思うから」、「クラス替えで、新しい友だちをつくる経験ができると思うから」、「ずっと同じ人間関係が続くより、変化があった方がよいと思うから」の比率が高くなっています。背景として、新たな人間関係に対する期待感があるものと考えられます。

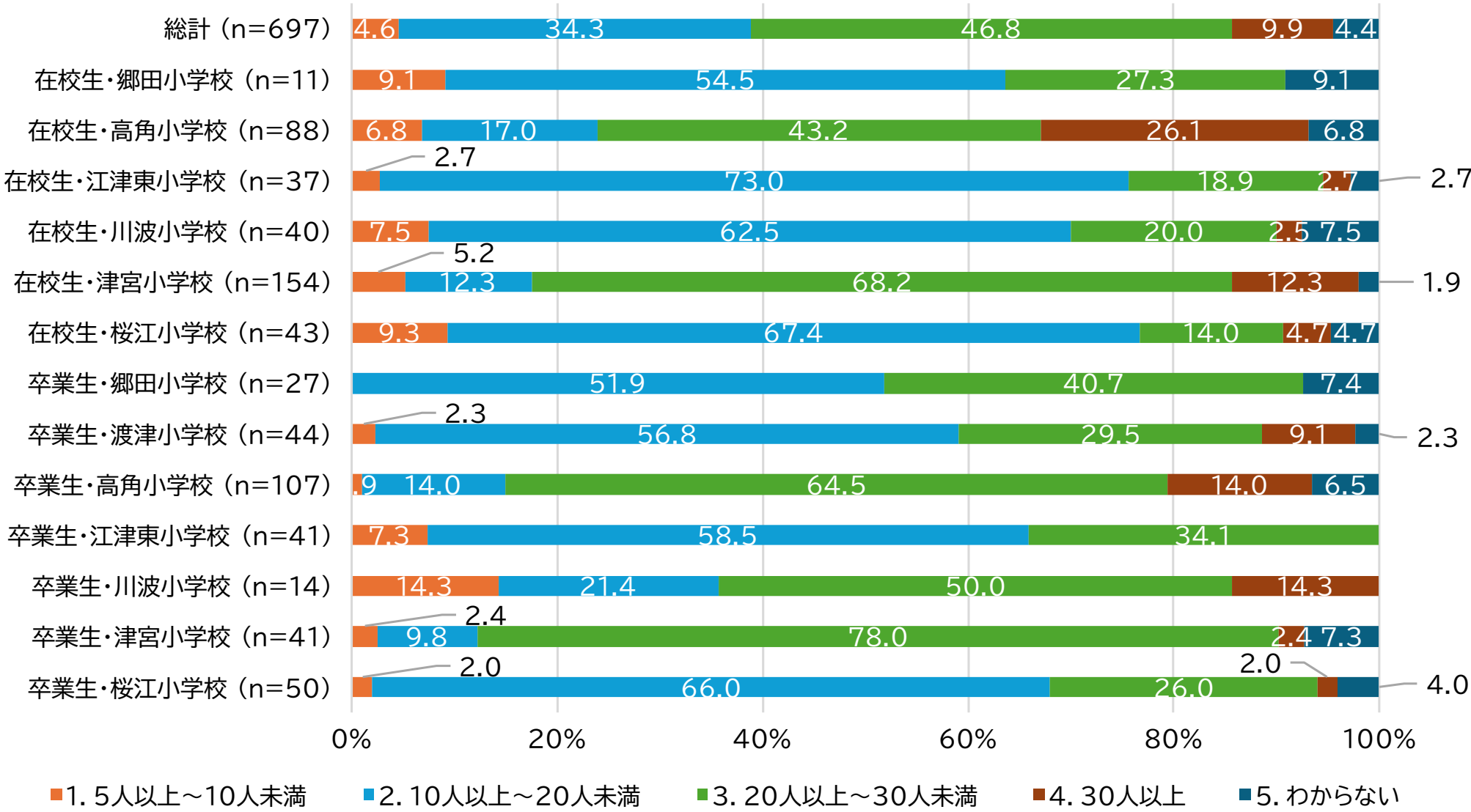
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●小学校における理想的な学級人数 【回答者：小中高生】 (単一回答)

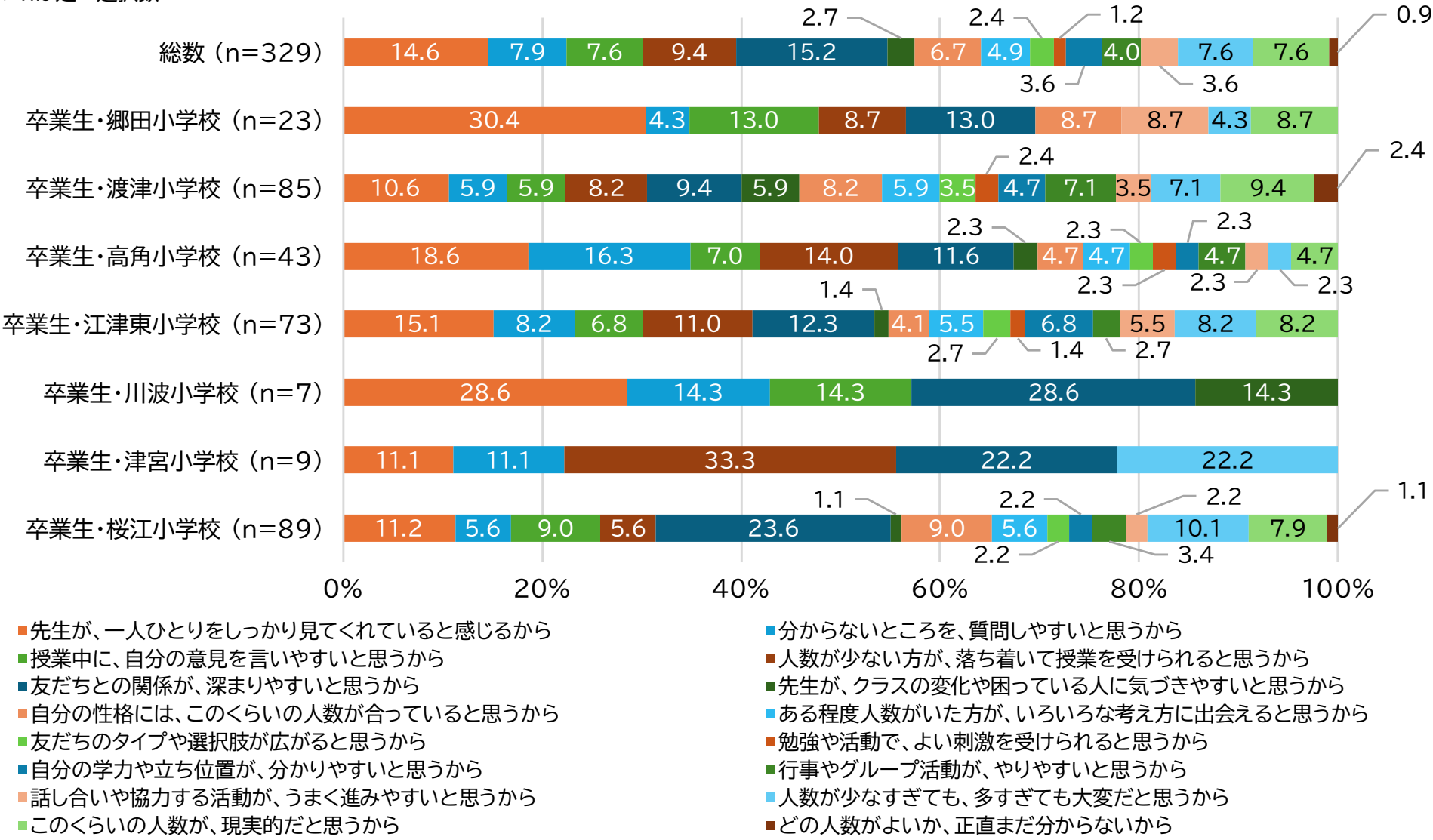
- 全体として、「20人以上～30人未満」の選択率が最も高くなっています。少人数（「5人以上～10人未満」）、多人数（「30人以上」）の割合はいずれも低い状況です。
- 学校別では、回答内容に差が見られます。これは現況人数や近年の状況が考慮されていると考えられます。
- 所属状況別では、卒業生の方が多人数を望ましいとする傾向にあります。



●小学校における理想的な学級人数の理由（10人以上～20人未満）【回答者：中高生】（複数回答）

- 全体として、選択肢間の割合に大きな差はみられませんが、「先生が、一人ひとりをしっかり見ていてくれると感じるから」、「友だちとの関係が、深まりやすいと思うから」の割合が比較的高くなっています。
- 郷田小学校と川波小学校では、「先生が、一人ひとりをしっかり見ていてくれると感じるから」の割合が高くなっています。また渡津小学校では、選択肢の割合に差があまり見られませんでした。

※ nは延べ選択数

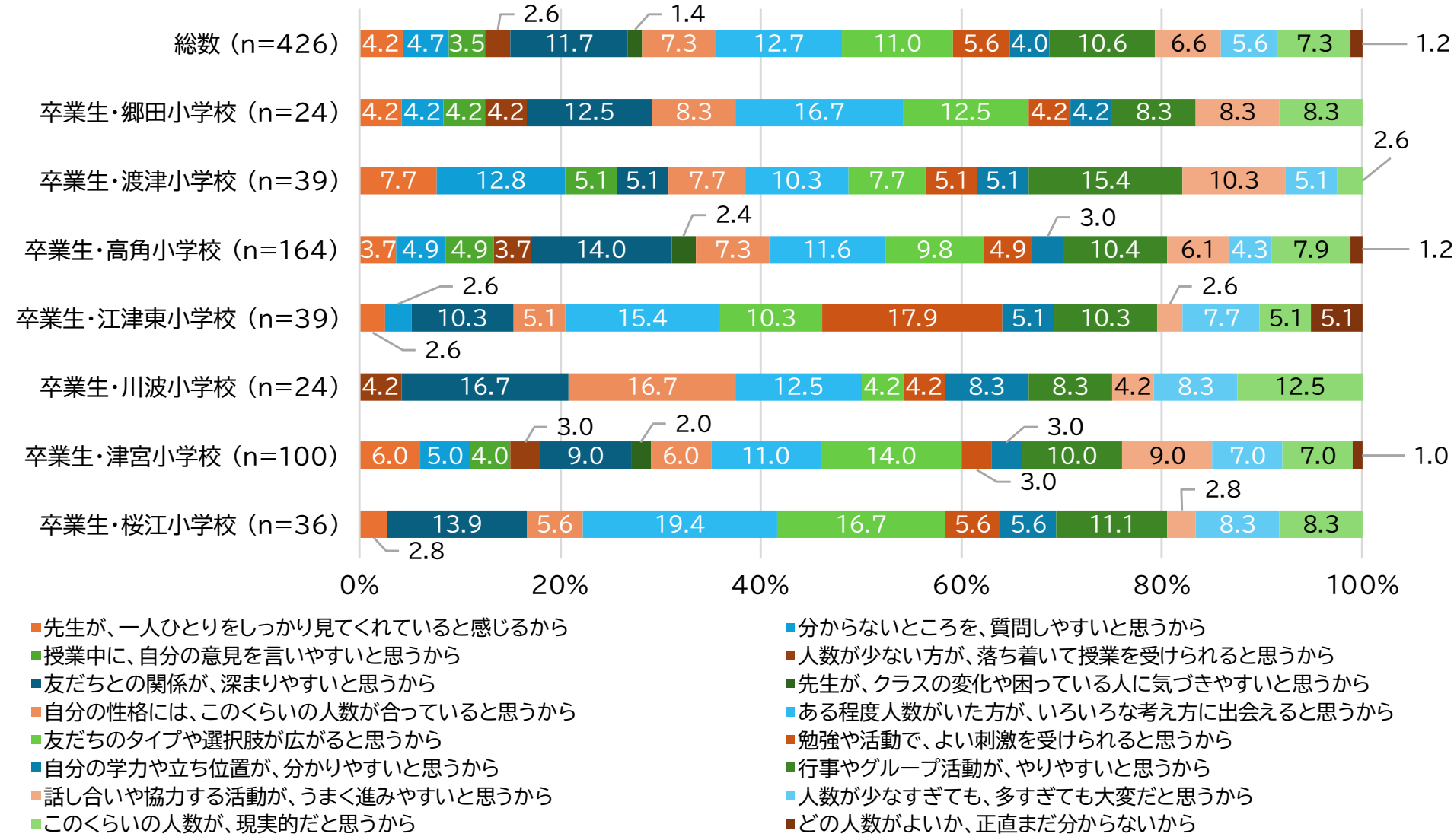


* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●小学校における理想的な学級人数の理由（20人以上～30人未満）【回答者：中高生】（複数回答）

- 全体として、選択肢間の割合に大きな差はみられませんが、「友達との関係が、深まりやすいから」「ある程度人数がいた方が、いろいろな考え方に出会えるから」「友達のタイプや選択肢が広がるから」「行事やグループ活動が、やりやすいから」といった、多人数のメリットに関する選択肢の割合が比較的高くなっています。
- 校区别では、江津東小学校で「勉強や活動で、よい刺激を受けられるから」の割合が高くなっています。

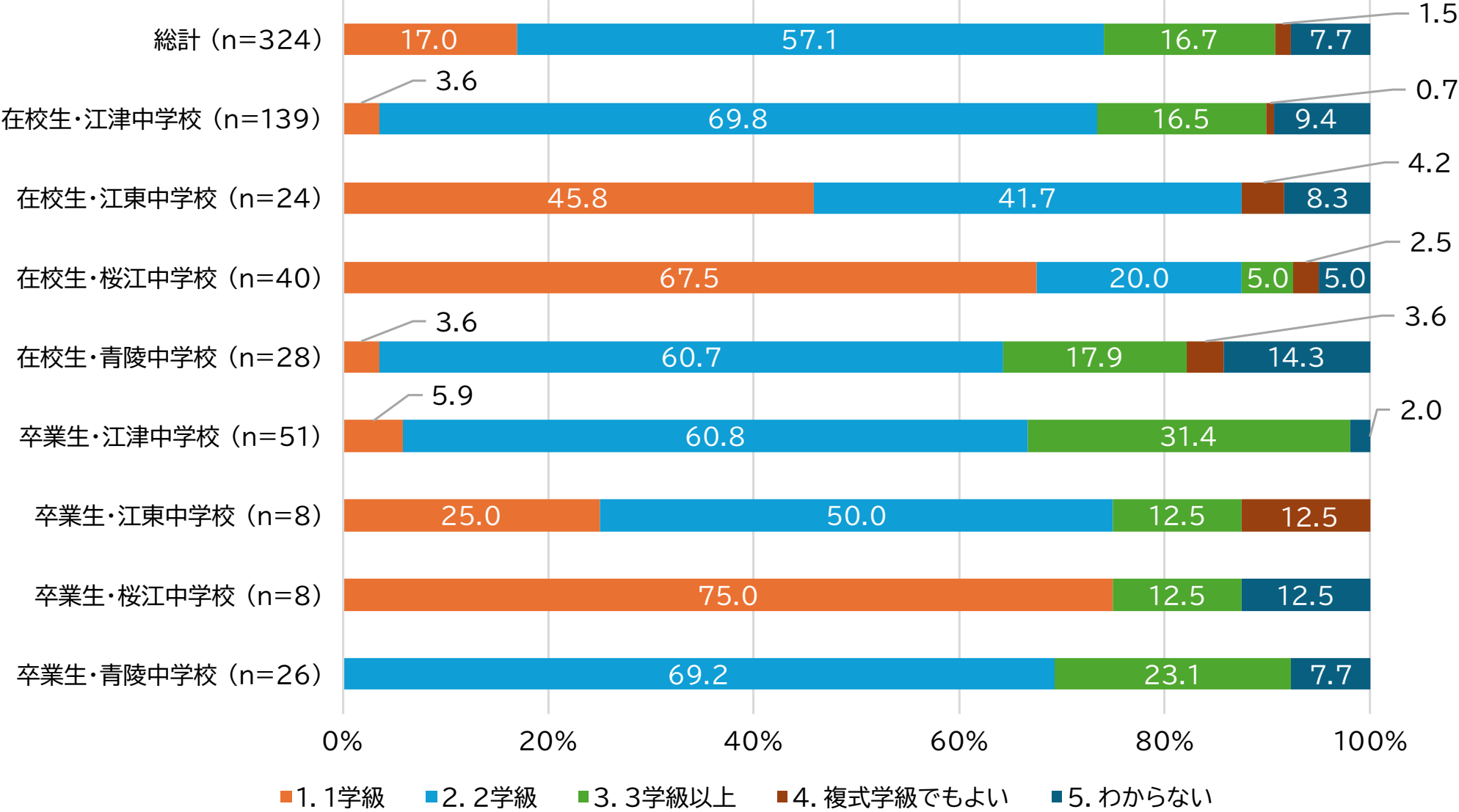
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。 10

●中学校における理想的な学級数 【回答者：中高生】 (単一回答)

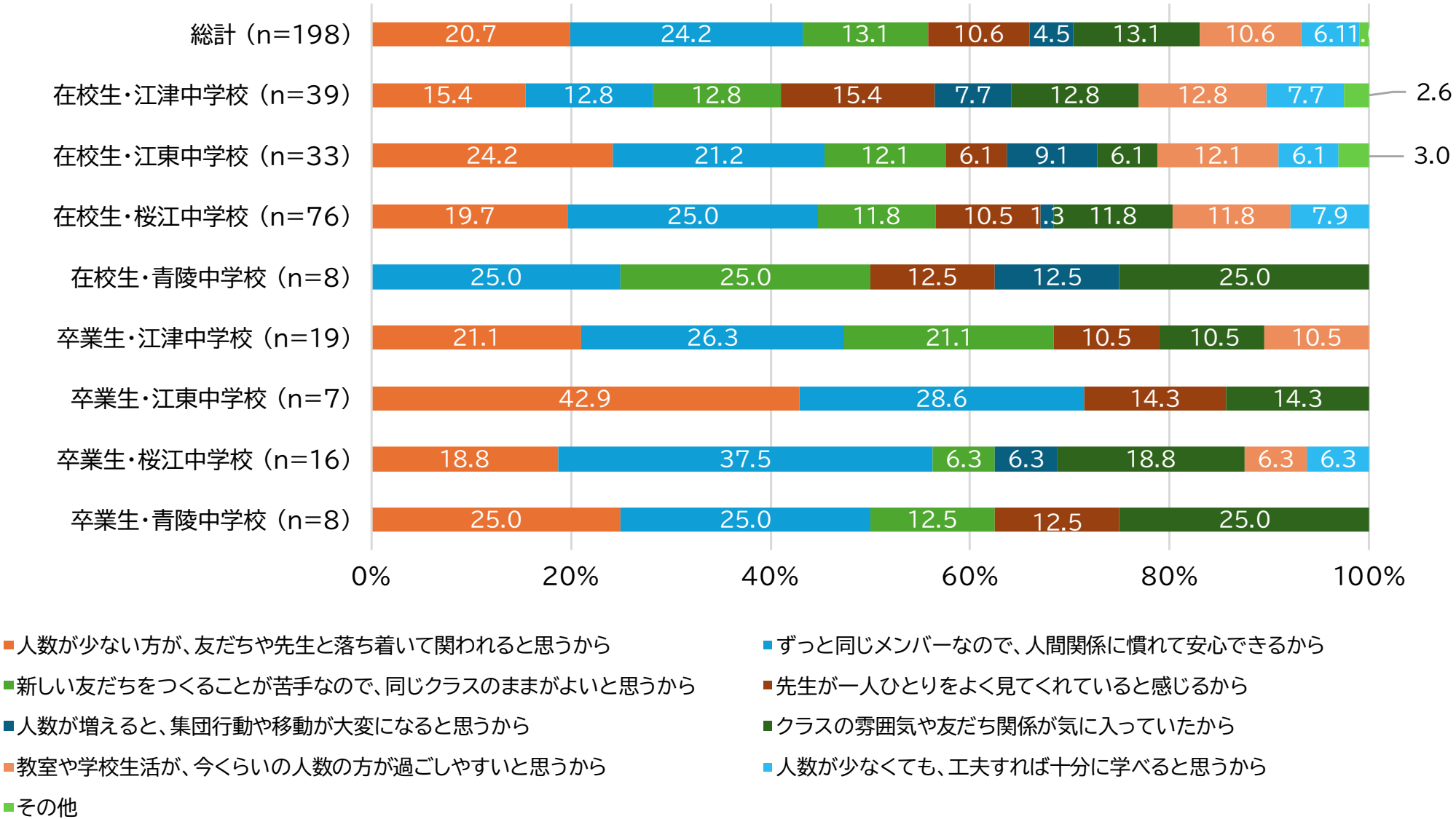
- 全体として、「2学級」が半数以上と突出しています。「複式学級でもよい」は1.5%でした。
- 学校別では、江東中学校と桜江中学校において、在學生と卒業生の「1学級」の選択率が高くなっています。また江津中学校と青陵中学校では在校生、卒業生ともに「2学級」が最も高くなっていました。



●中学校における理想的な学級数の理由（1学級、複式学級でもよい）【回答者：中高生】（複数回答）

- 全体として「人数が少ない方が、友だちや先生と落ち着いて関われると思うから」、「ずっと同じメンバーなので、人間関係に慣れて安心できるから」、「新しい友だちをつくるのが苦手なので、同じクラスのままだと思うから」などの割合が高くなっています。背景として、既存の人間関係への安心感があるものと考えられます。

※ nは延べ選択数

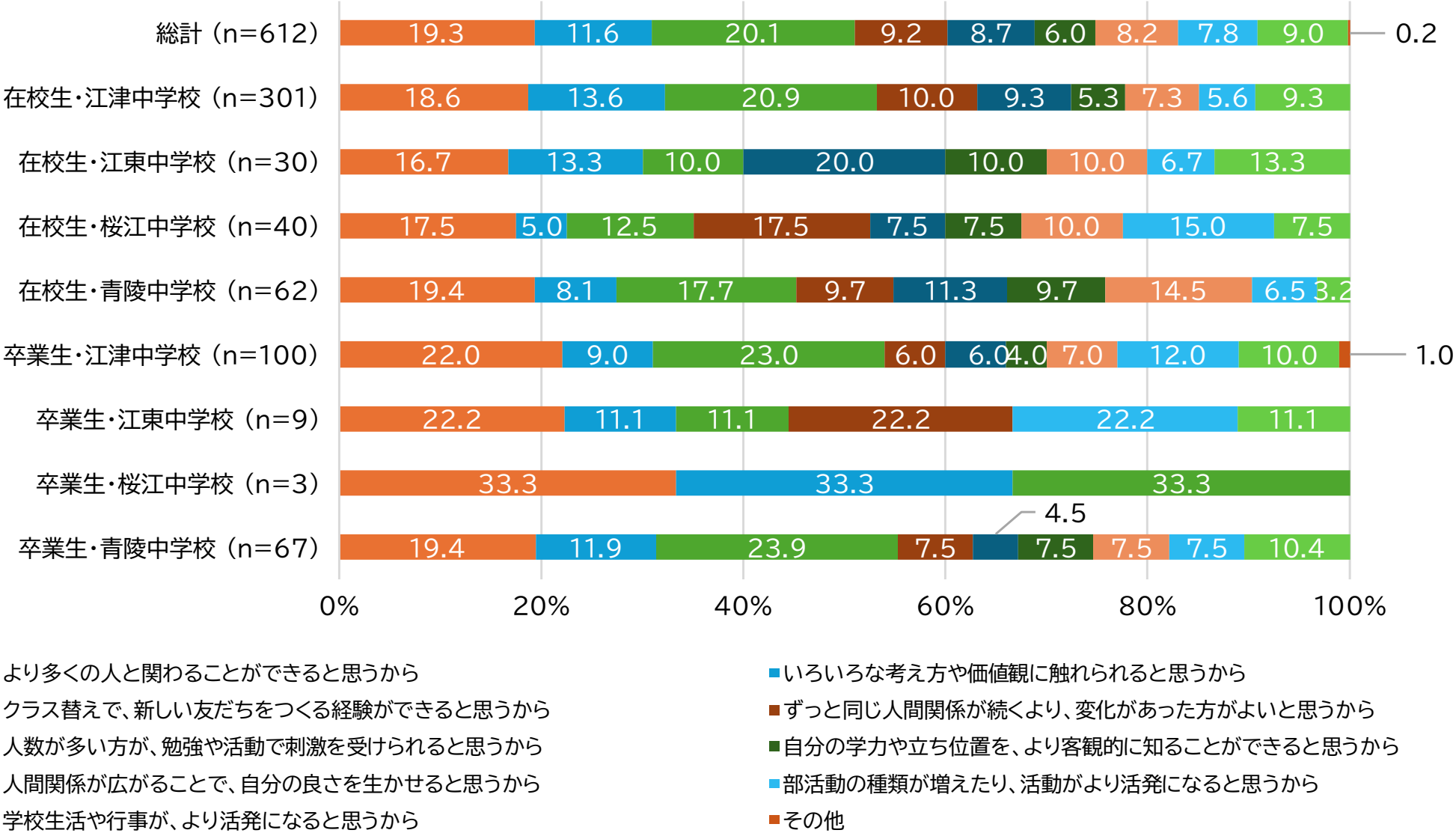


* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

● 中学校における理想的な学級数の理由（2学級以上） 【回答者：中高生】（複数回答）

全体として、「より多くの人と関わることができると思うから」、「クラス替えで、新しい友だちをつくる経験ができると思うから」、「ずっと同じ人間関係が続くより、変化があった方がよいと思うから」の割合が高くなっています。この背景として、新たな人間関係に関する期待があるものと考えられます。

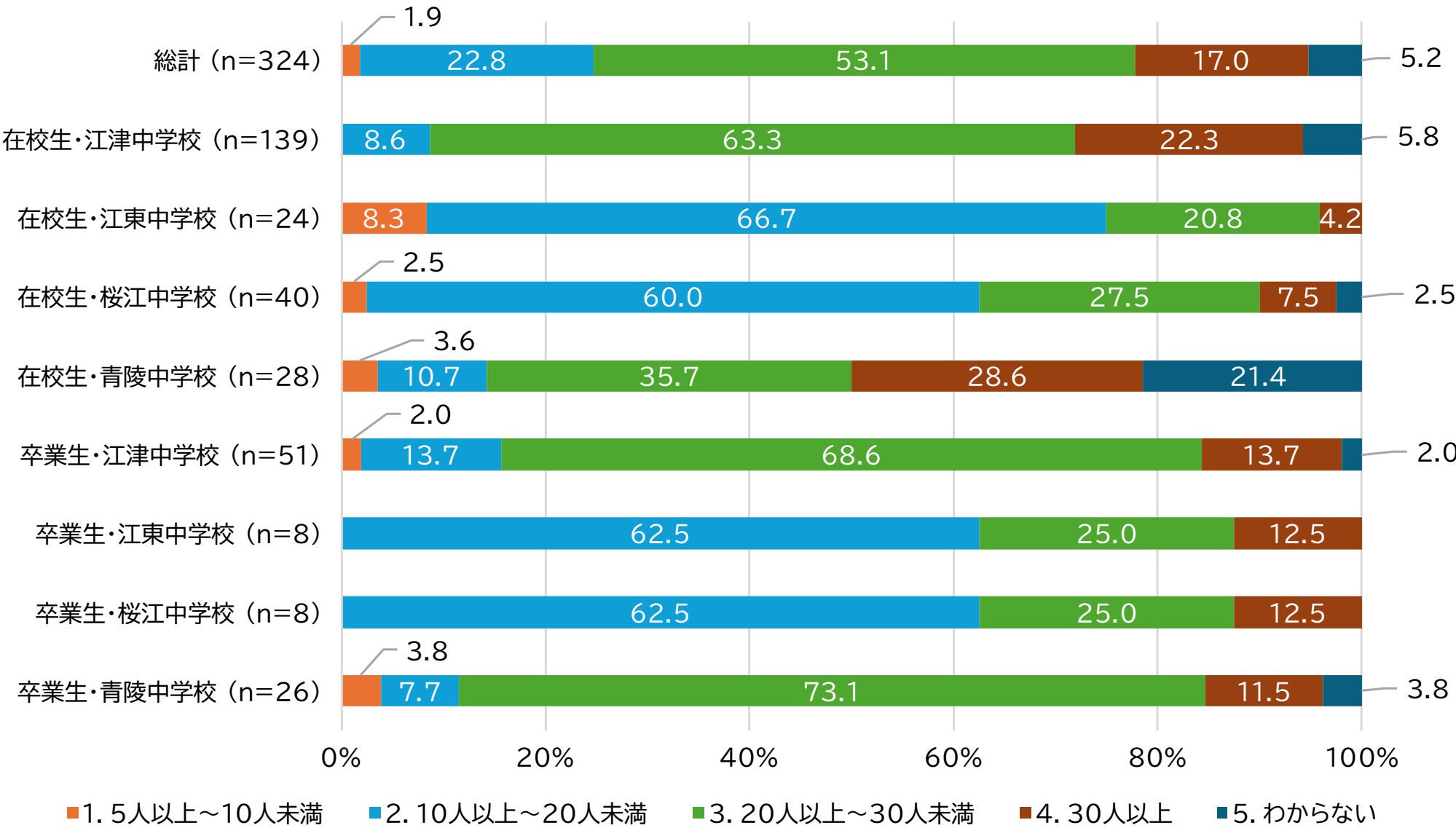
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●中学校における理想的な学級人数 【回答者：中高生】 (単一回答)

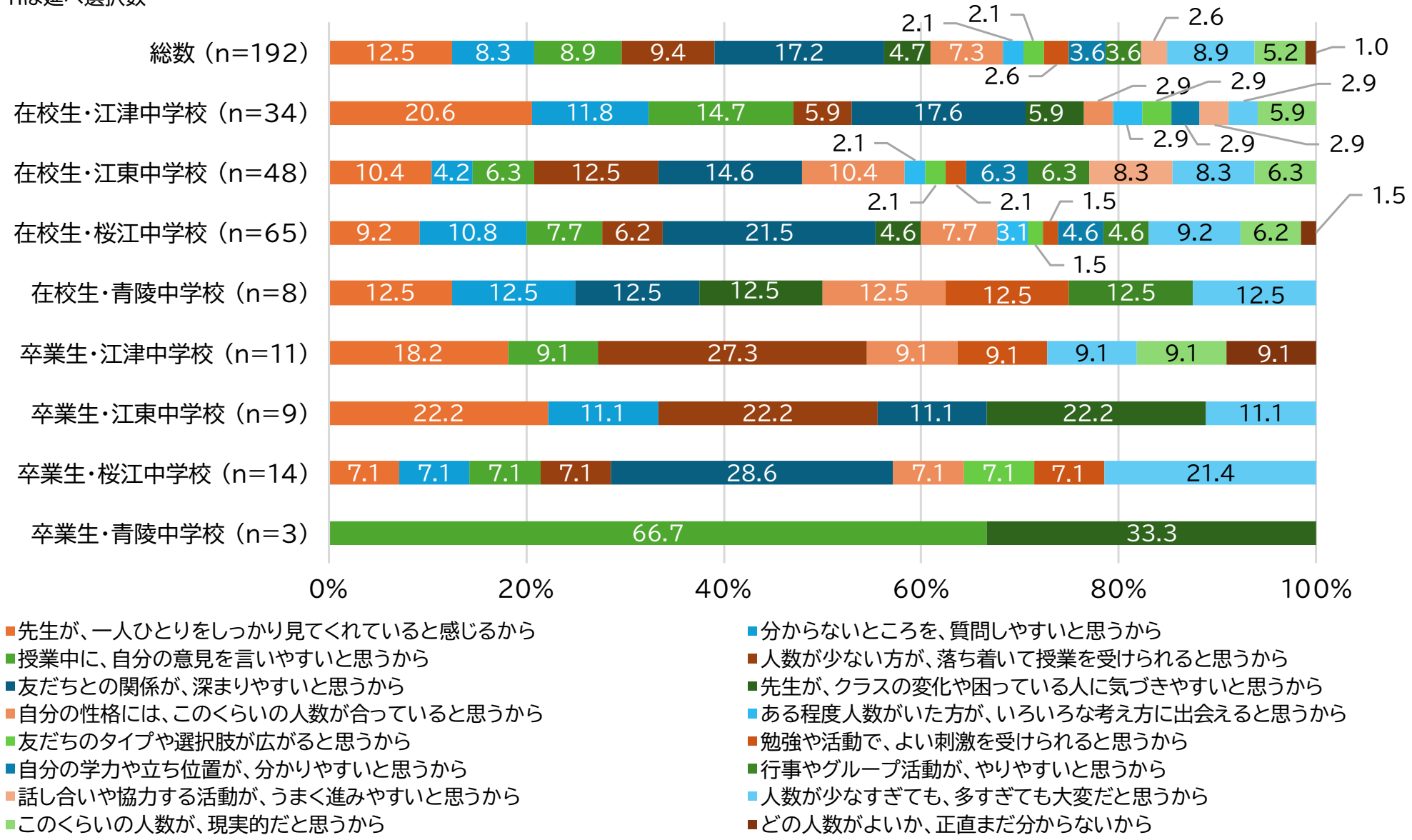
- 全体として、「20人以上～30人未満」が半数以上と突出しています。「5人以上～10人未満」、「30人以上」は約20%となっています。
- 学校別では、江東中学校と桜江中学校において、在學生、卒業生ともに「10人以上20人未満」の割合が約2/3となっています。一方、江津中学校、青陵中学校は「20人以上～30人未満」の割合が在學生、卒業生共に最も高くなっています。



●中学校における理想的な学級人数の理由（10人以上～20人未満）【回答者：中高生】（複数回答）

• 全体として、選択肢間の割合に大きな差はみられませんが、「先生が、一人ひとりをしっかり見ていてくれると感じるから」、「友だちとの関係が、深まりやすいと思うから」の割合が比較的高くなっています。

※ nは延べ選択数

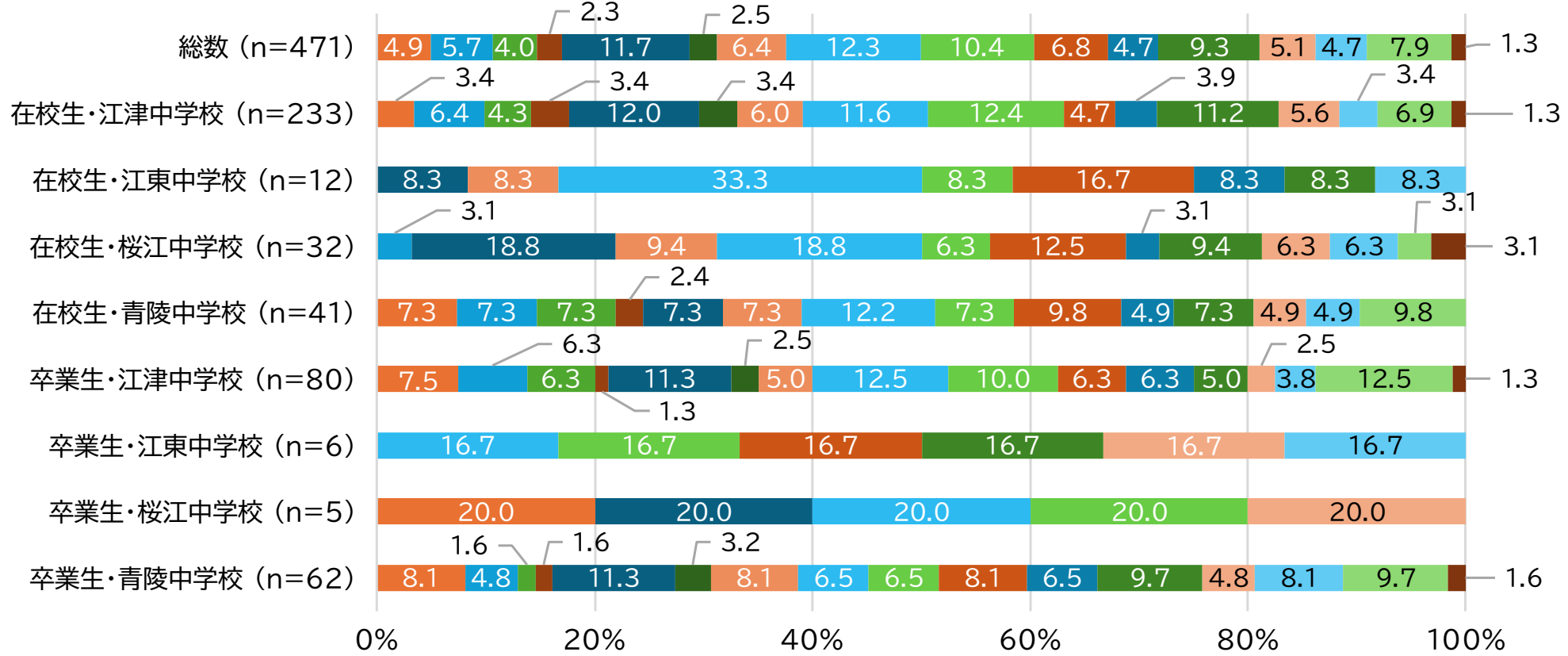


* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●中学校における理想的な学級人数の理由（20人以上～30人未満）【回答者：中高生】（複数回答）

全体として、選択肢間の割合に大きな差はみられませんが、「友達との関係が、深まりやすいから」「ある程度人数がいた方が、いろいろな考え方に出会えるから」「友達のタイプや選択肢が広がるから」といった、多人数のメリットに関するものの割合が比較的高くなっています。

※ nは延べ選択数



- 先生が、一人ひとりをしっかり見てくれていると感じるから

■授業中に、自分の意見を言いやすいと思うから

■友だちとの関係が、深まりやすいと思うから

■自分の性格には、このくらいの人数が合っていると思うから

■友だちのタイプや選択肢が広がると思うから

■自分の学力や立ち位置が、分かりやすいと思うから

■話し合いや協力する活動が、うまく進みやすいと思うから

■このくらいの人数が、現実的だと思うから
- 分からないところを、質問しやすいと思うから

■人数が少ない方が、落ち着いて授業を受けられると思うから

■先生が、クラスの変化や困っている人に気づきやすいと思うから

■ある程度人数がいた方が、いろいろな考え方に出会えると思うから

■勉強や活動で、よい刺激を受けられると思うから

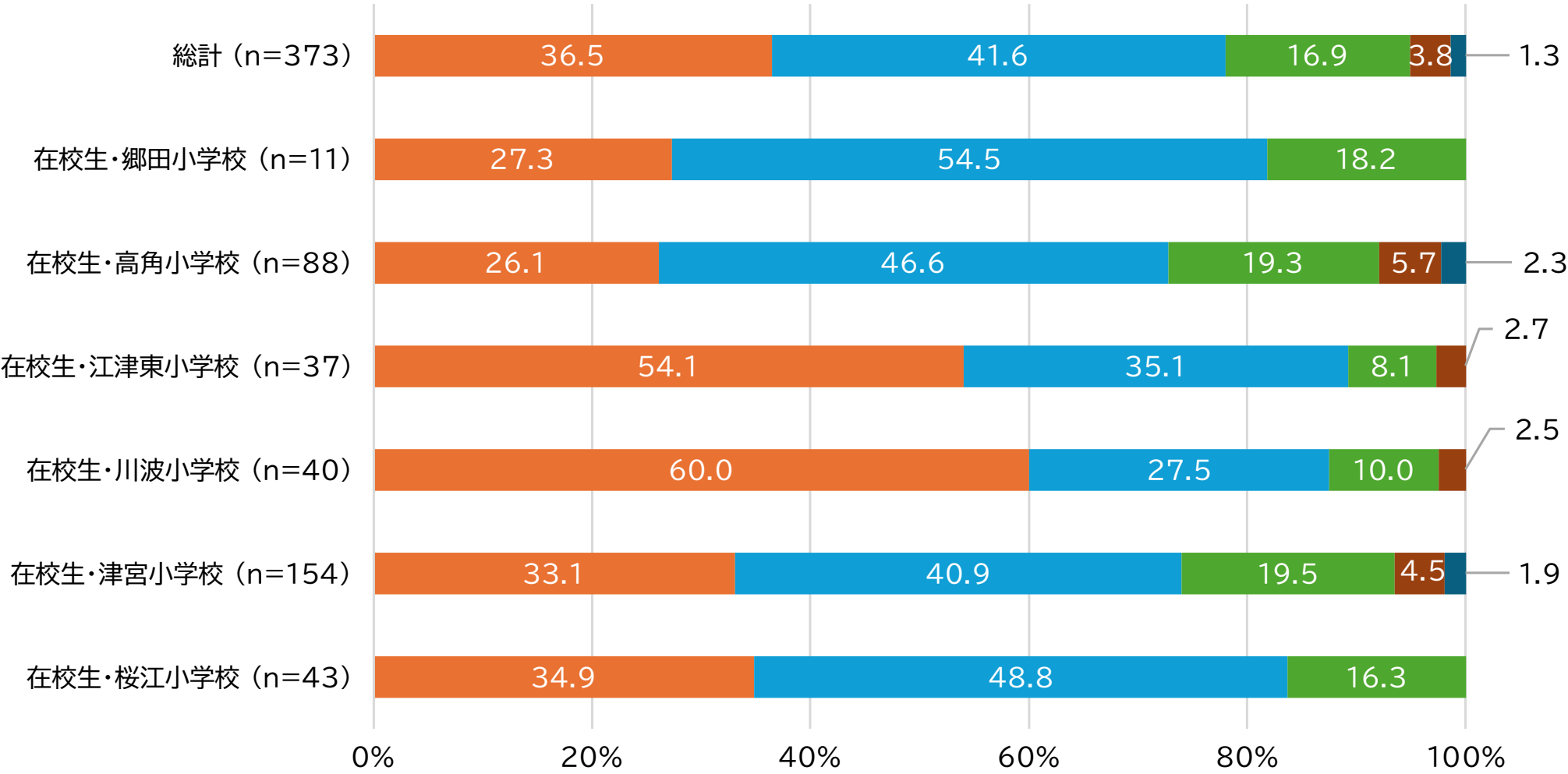
■行事やグループ活動が、やりやすいと思うから

■人数が少なすぎても、多すぎても大変だと思うから

■どの人数がよいか、正直まだ分からないから

● 幸せの認知（小学生） 【回答者：小学生】（単一回答）

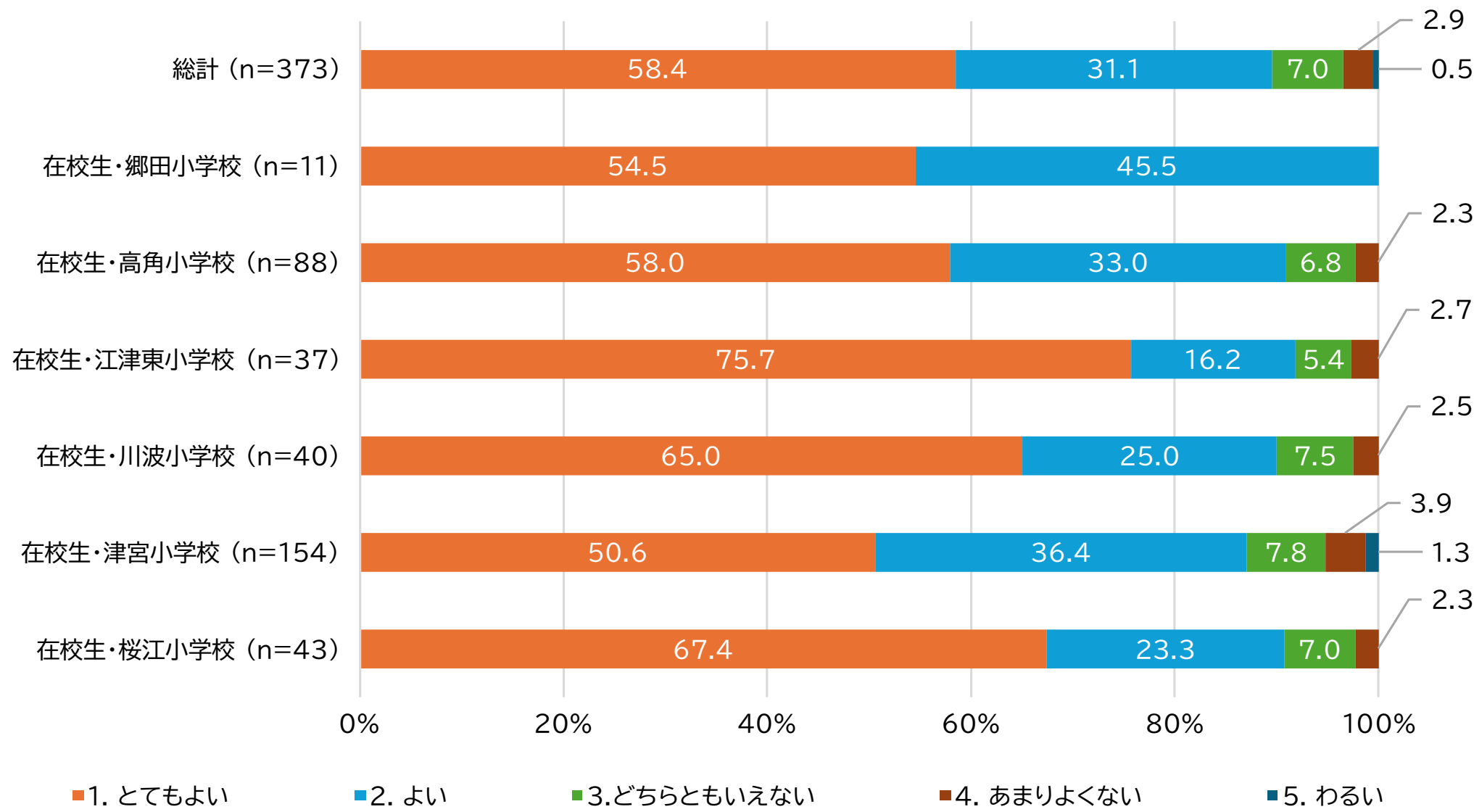
- 全体として、「とてもしあわせだと思う」「しあわせだと思う」の割合は約80%となっています。
- 学校別にみると、江津東小学校、川波小学校では「とてもしあわせだと思う」が約60%と最も高くなる一方、郷田小学校、高角小学校、桜江小学校、津宮小学校では「しあわせだと思う」が最も高くなっています。



■ 1. とてもしあわせだと思う ■ 2. しあわせだと思う ■ 3. どちらともいえない ■ 4. あまりしあわせだと思わない ■ 5. まったくしあわせだと思わない

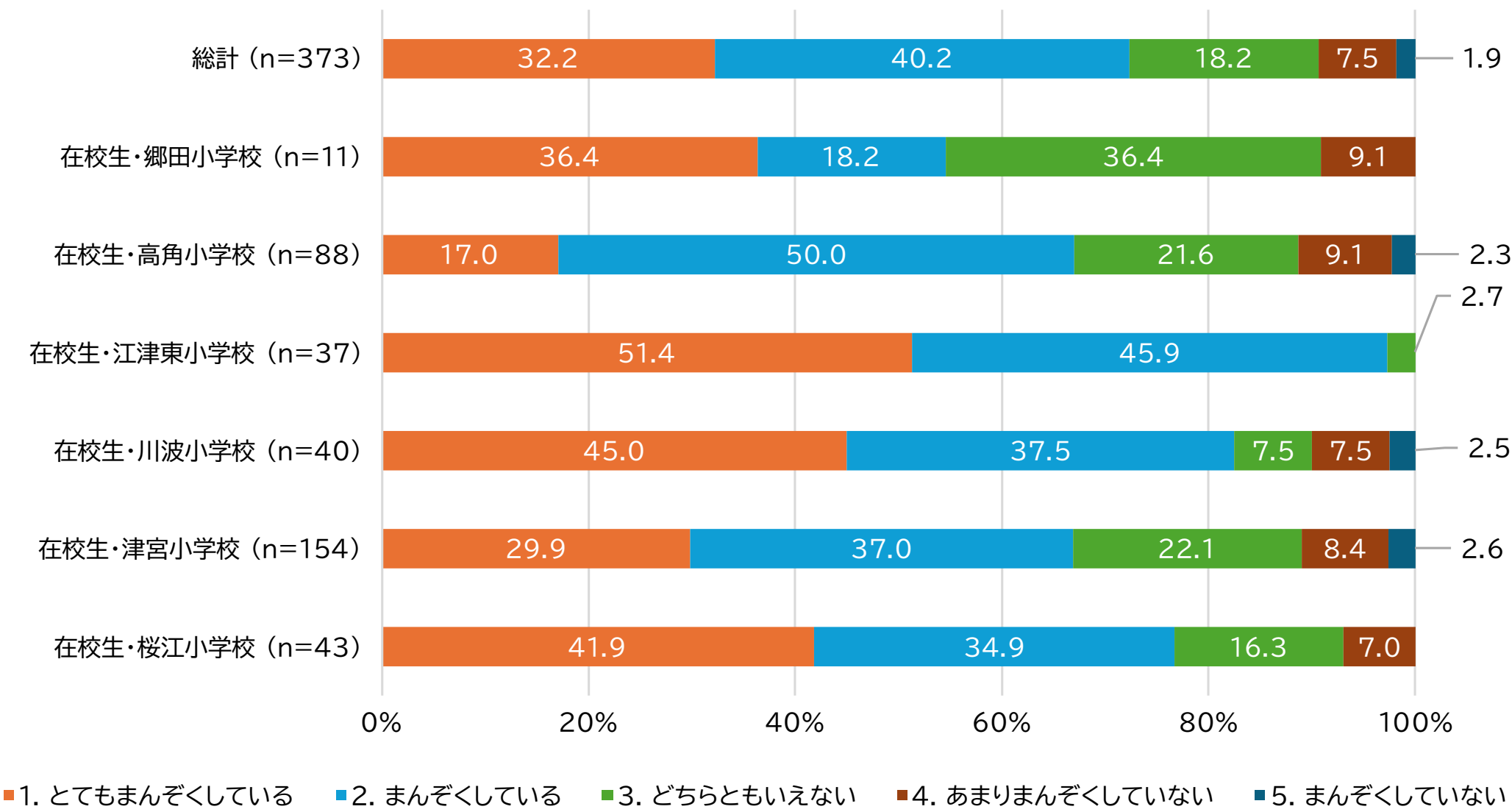
●家族との関係性（小学生） 【回答者：小学生】（単一回答）

- 全体として、「とてもよい」と「よい」の割合は合計90%程度となっています。
- 学校別にみると、江津東小学校、桜江小学校、川波小学校では「とてもよい」の割合が比較的高く、いずれも65%以上となっています。



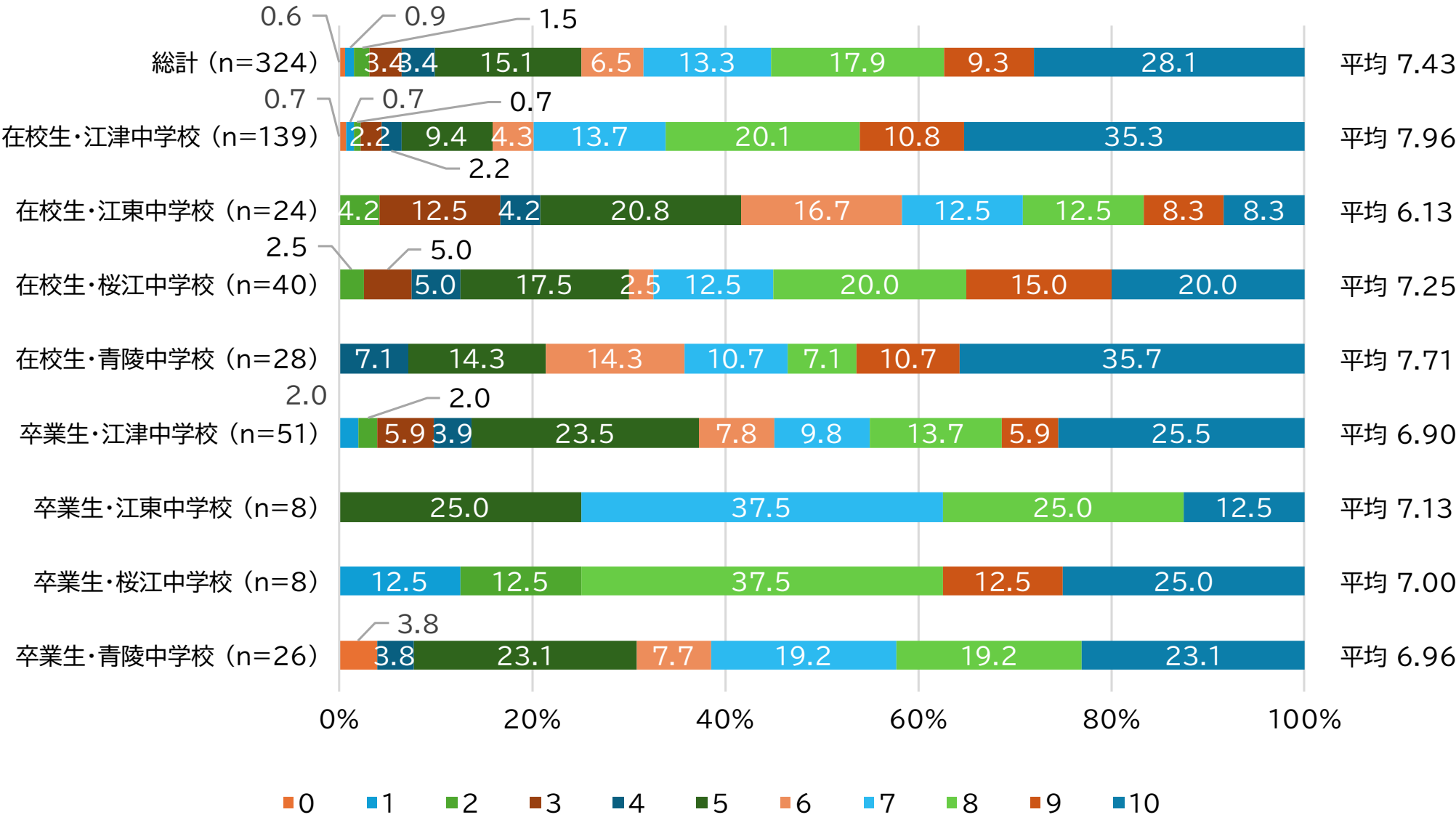
●現在、通っている小学校への満足（小学生） 【回答者：小学生】（単一回答）

- 全体として、「とてもまんぞくしている」と「まんぞくしている」の割合は合計70%程度となっています。
- 学校別にみると、江津東小学校、桜江小学校、川波小学校では「とてもまんぞくしている」の割合がいずれも40%以上と高い一方、高角小学校では「とてもまんぞくしている」が17%と低くなっています。

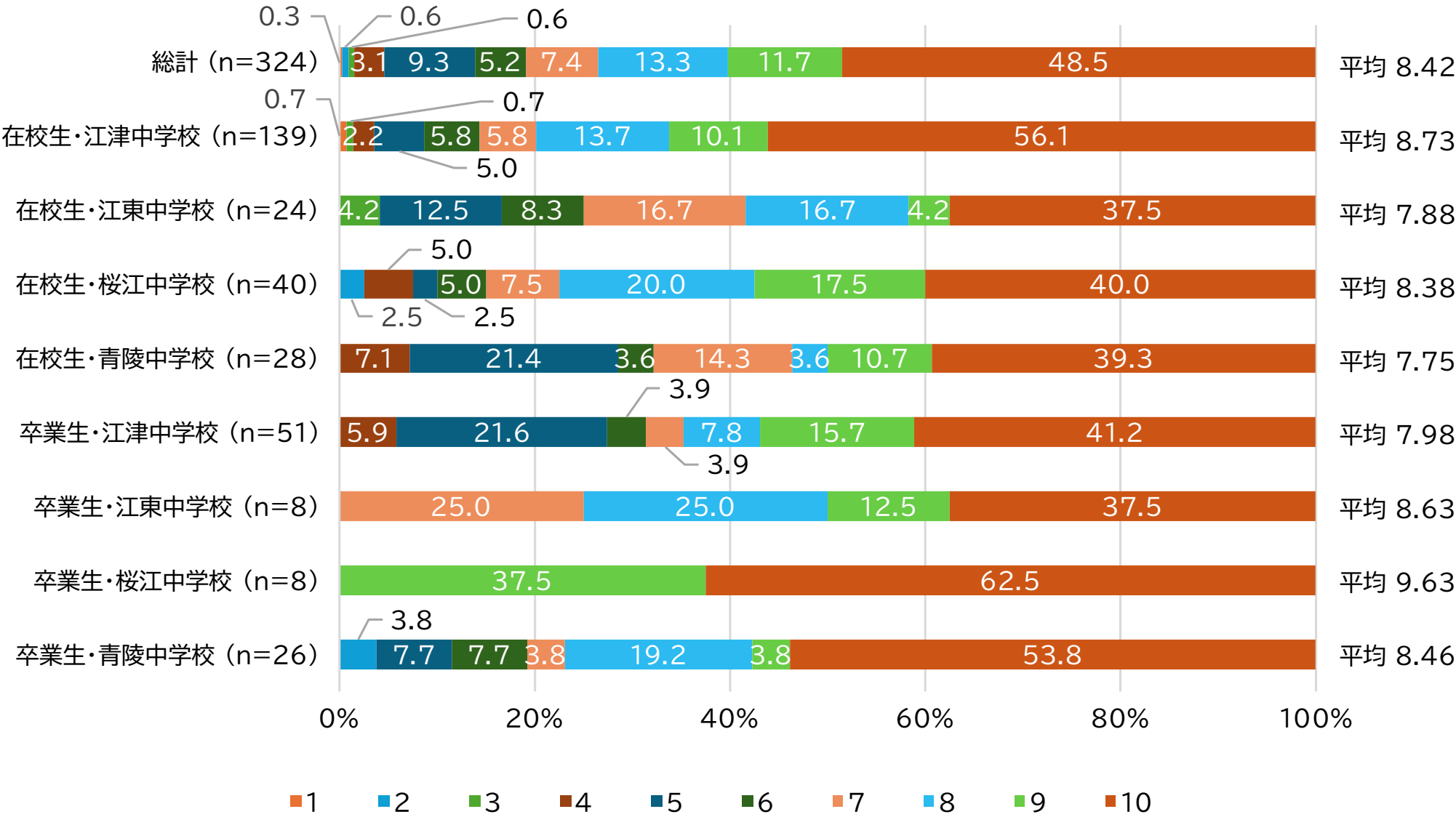


●現在の幸福度（中高生） 【回答者：中高生】（単一回答）

- 全体として、6点以上の割合が70%程度となっています。
- 在学生・卒業生別にみると、卒業生の方が比較的満足度が高い傾向があります。

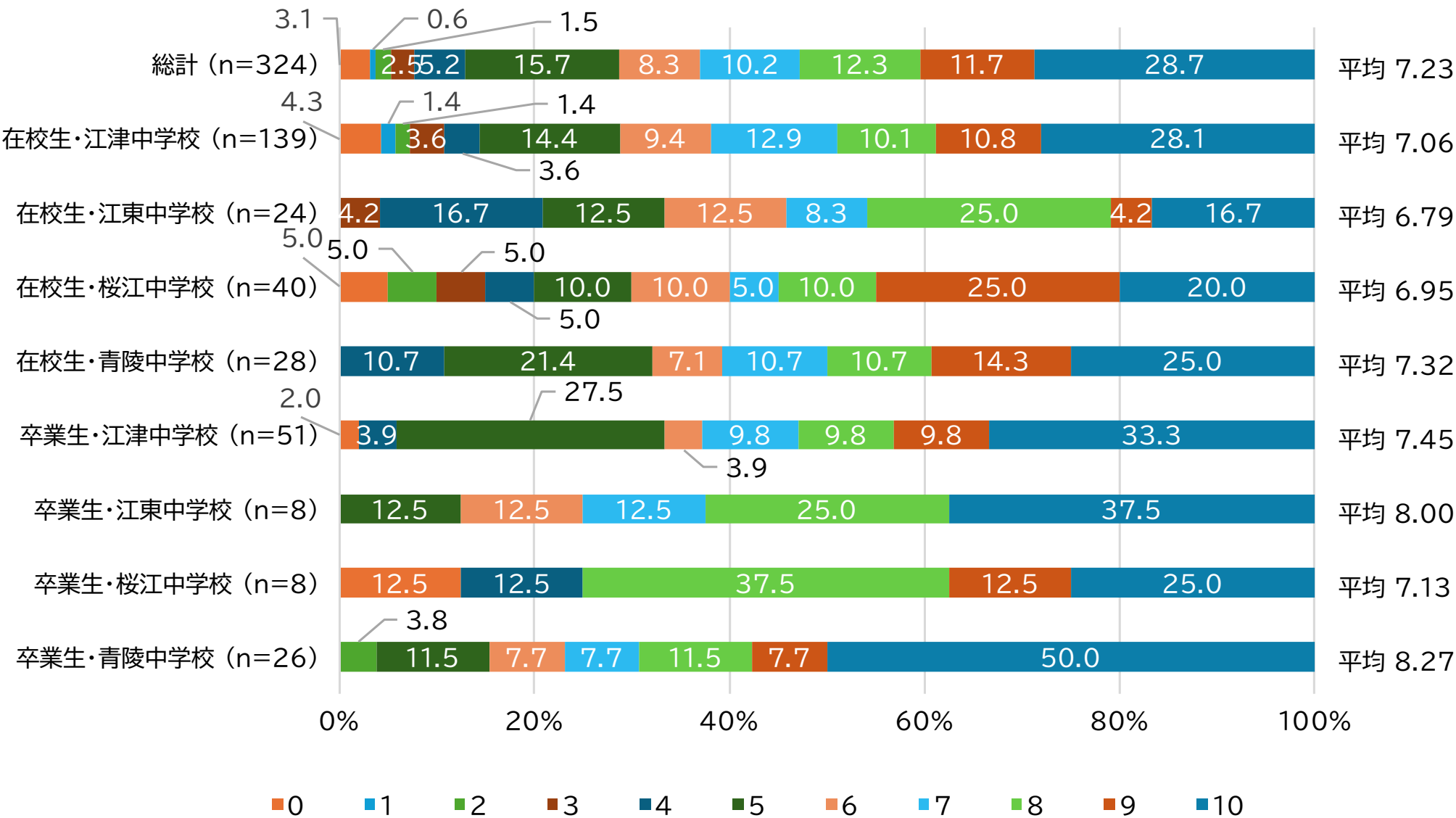


• 全体として、10点満点が約半数を占めます。



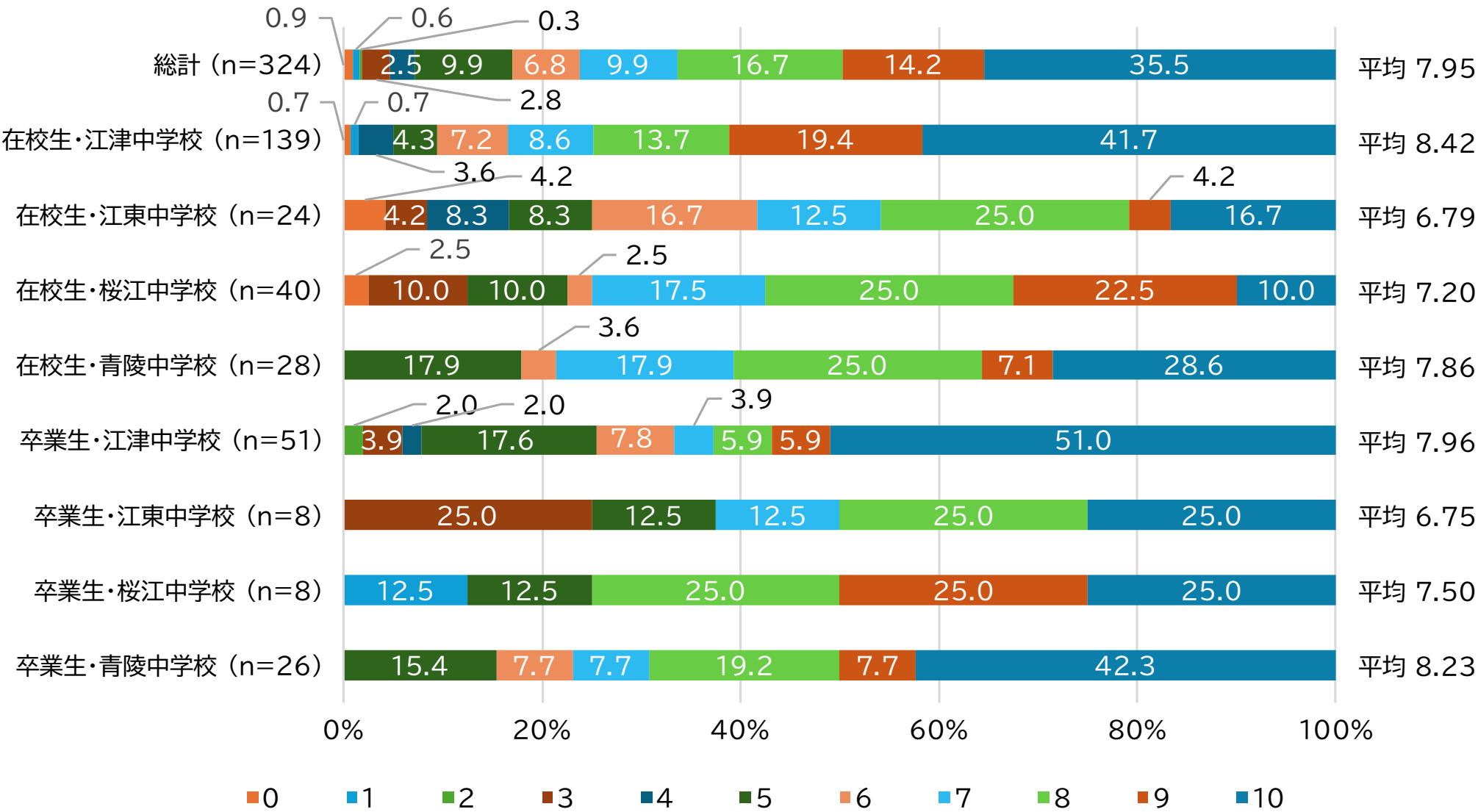
●通っていた小学校に対する満足度（中高生） 【回答者：中高生】（単一回答）

- 全体として、10点満点が約30%となっています。
- 在校生よりも卒業生の方が高得点（8点以上）の割合がやや高くなっています。



●通っている・通っていた中学校に対する満足度（中高生）【回答者：中高生】（単一回答）

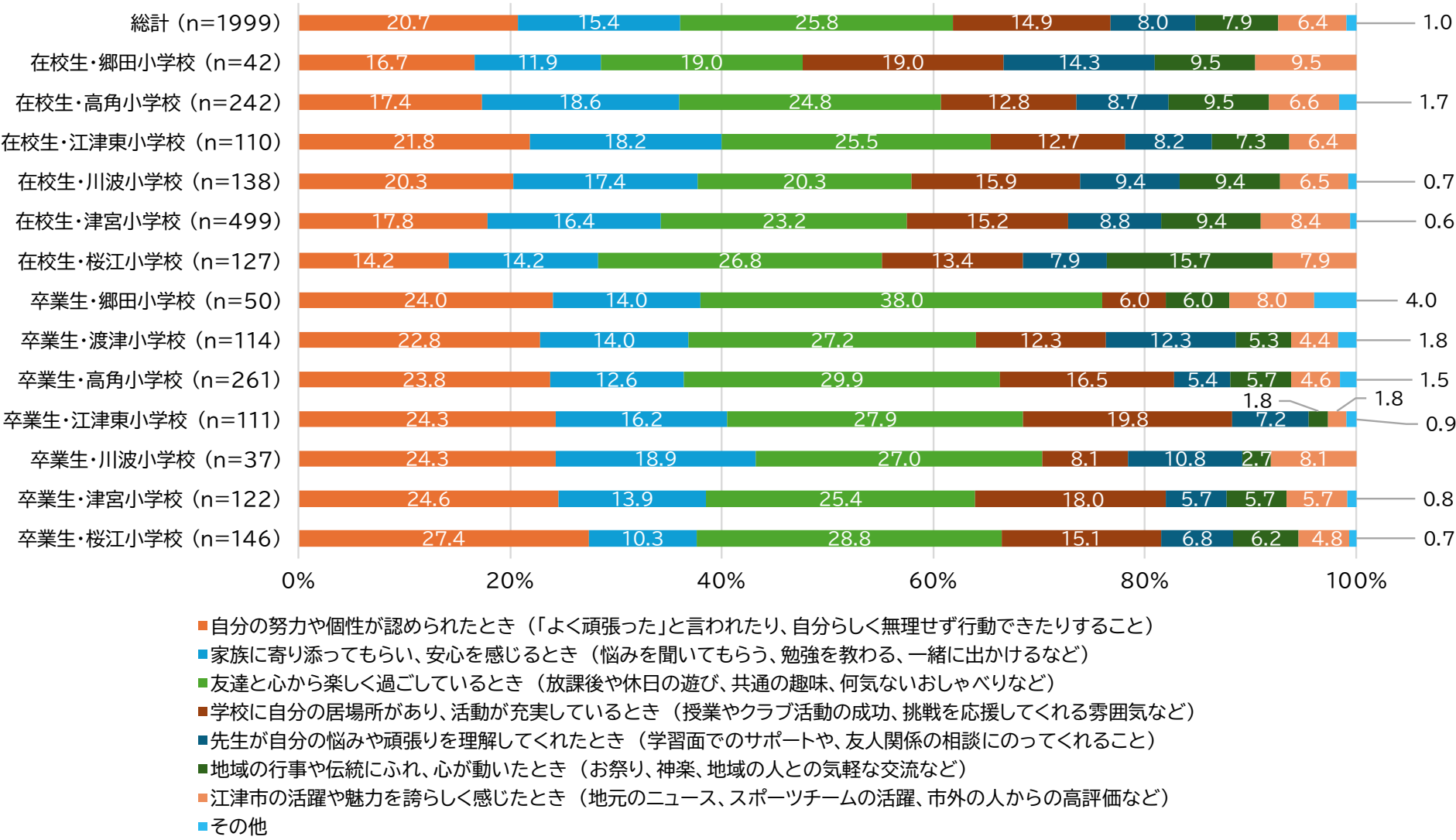
- 全体として、10点満点が約1/3を占めています。



●どんな時に幸せを感じるか（小中高生） 【回答者：小中高生】（複数回答）

- 全体として、「努力や個性が認められたとき」、「家族から安心を感じるとき」、「友達と楽しく過ごしているとき」、「学校での自分の居場所、充実した活動」など、身近な人との関わりを前提とした選択肢の割合が高くなっています。
- 一方、「地域の行事や伝統」、「江津市の活躍や魅力」といった地域に関連する選択肢の割合は低く、地域の文化や社会に根差した幸せを感じづらいことがうかがえます。

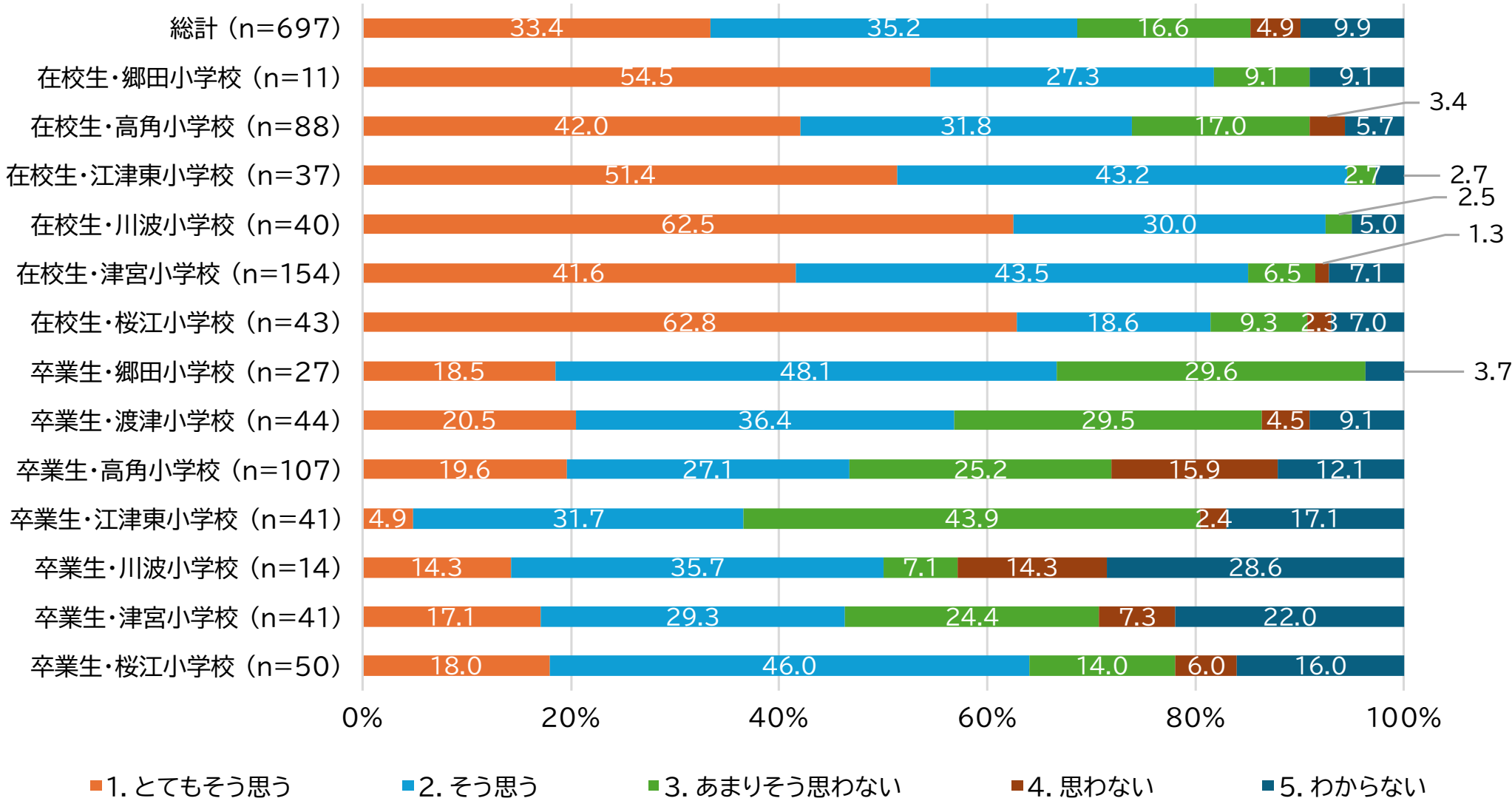
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

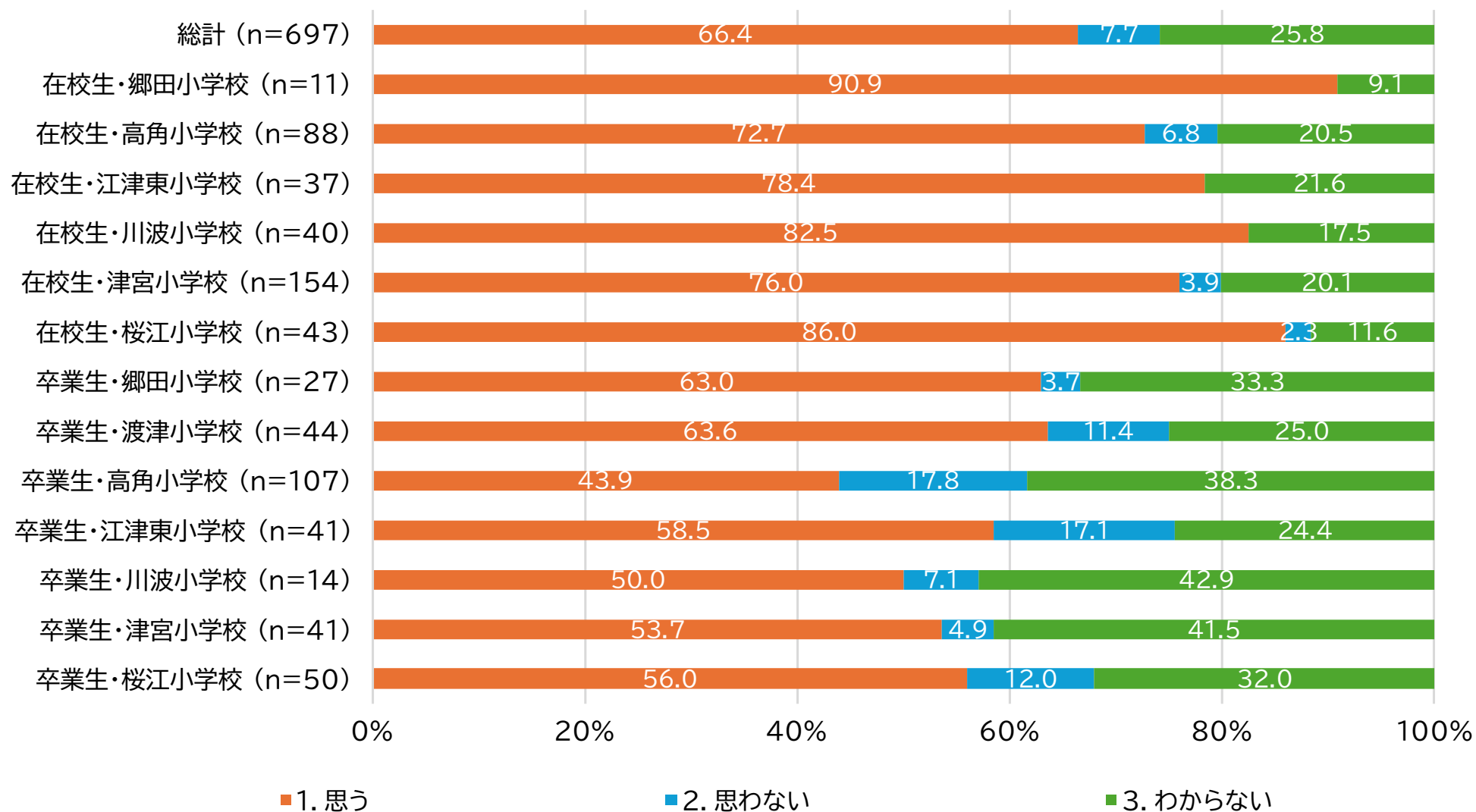
●今後の居住継続意向 【回答者：小中高生】（単一回答）

- 全体として、「とてもそう思う」と「そう思う」の割合は約70%となっています。
- 小学校の在校生では「とてもそう思う」の割合が、いずれの小学校でも高い水準にありますが、卒業生ではいずれも20%以下となっており、成長の過程で居住継続の意欲が薄れている状況が見て取れます。



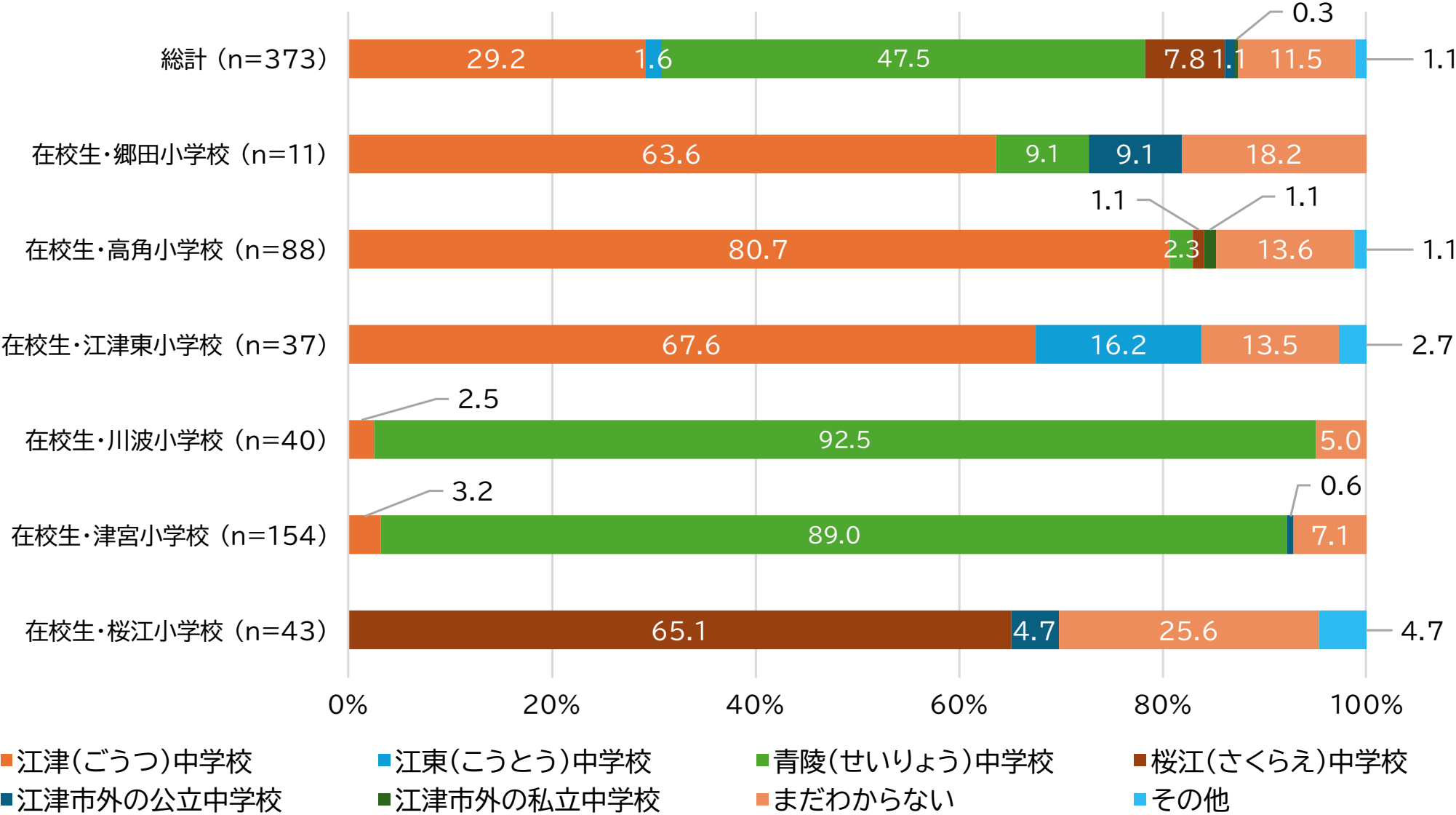
●将来的なUターンの意向 【回答者：小中高生】（単一回答）

- 全体として、約2/3が「思う」と回答してます。
- 在校生と比較して、卒業生は「思う」の割合が低くなっていますが、「居住継続の意向」で見られたような急落はみられません。この点から、一度町外に転出したとしても、町内には一定の愛着も持ち続けていると考えられます。



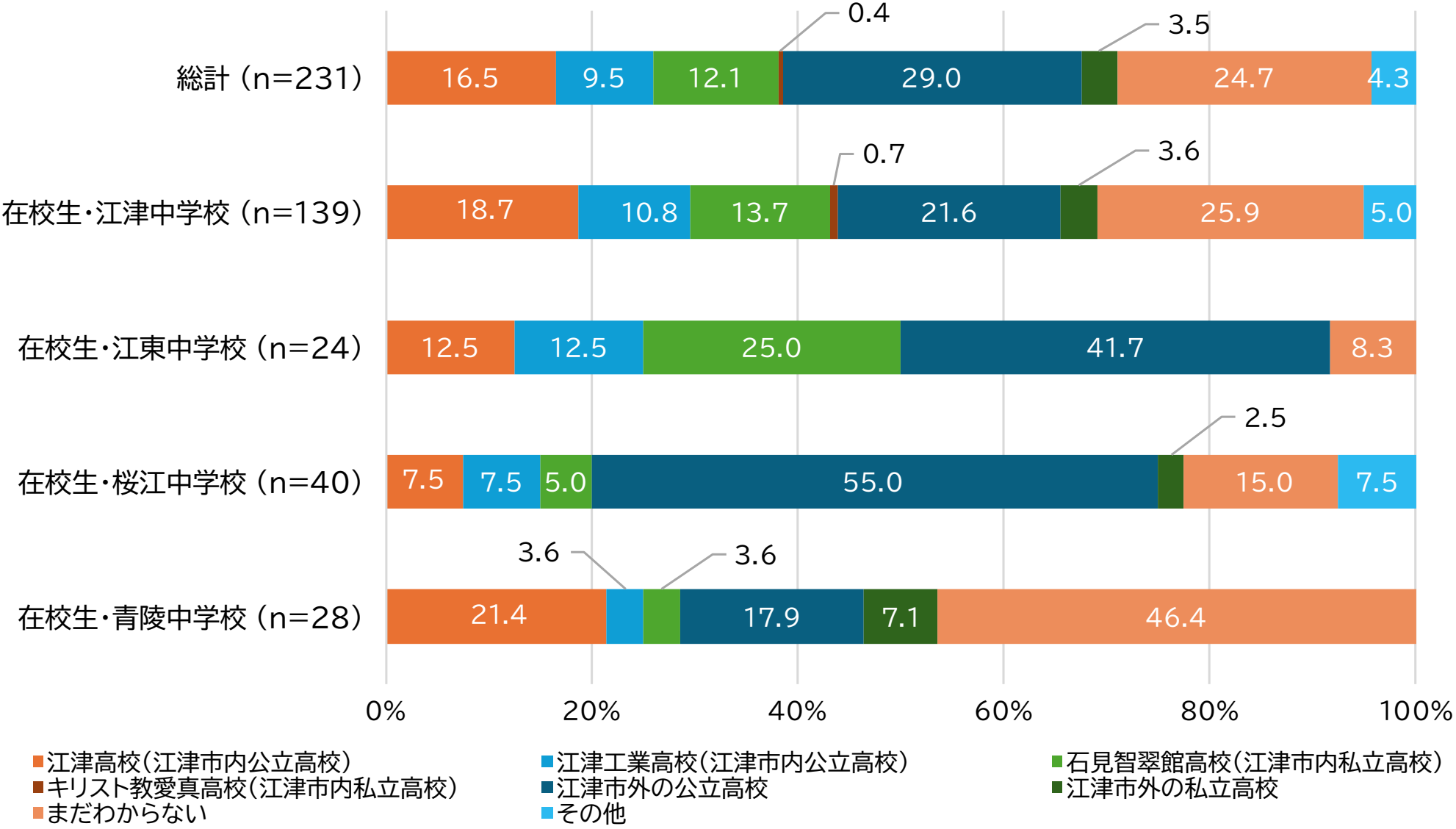
●進学したい中学校 【回答者：小学生】（単一回答）

- 全体として、校区にある中学校が選択されています。
- 学校別にみると、郷田小学校では約20%が町外に進学する意向があります。また江東中学校区である江東東小学校では、約2/3が江津中学校への進学を希望する状況となっています。



●進学したい高校 【回答者：中学生】 (単一回答)

- 全体として、江津市内の高校に進みたいと考えているのは40%以下となっています。
- 特に桜江中学校では、55%が「江津市外の公立高校」へ進学を希望しています。



●希望する進路 【回答者：高校生】（単一回答）

- 全体として、「専門学校へ進学」が約30%と最も多く、次いで「まだわからない」の約20%となっています。
- 「江津市内で就職」、「江津市内で家業の手伝い」など、市内に留まることを前提とした選択肢の割合が低くなっています。

